

## 【緑で結ぶ心の輪】



Vol. 5 6 (平成24年12月)

埼玉グリーンアドバイザーの会 広報委員会

〒336-0035 さいたま市南区松本 2-1-13 柴田園芸刃物(株)内 事務局

TEL : 048-864-2311 / FAX: 048-864-2355

事務局メールアドレス

s-ga0329@s-greenadviser.org

埼玉 GA の会ホームページ

s-greenadviser.org

## 【平成25年度総会のお知らせ】

平成25年度の通常総会の日程がきました。

ご予約をいただき一人でも多くの会員皆様のご出席をお待ちしています。

●日時 : 平成25年2月2日(土) 午後2時～

●会場 : さいたま市産業文化センター 3階(301～302号)会議室

交通 JR 与野本町駅東口徒歩6分

住所 さいたま市中央区下落合5-4-3

電話 048-854-0486

### ●行事予定

受付開始 : 午後1時30分

総会開始 : 午後2時

記念講演 : 午後3時～4時30分

懇親会 : 午後5時～6時30分

\*総会の詳細は、別紙の総会案内でご確認ください。

## 【記念講演のお知らせ！】

講師：玉崎 弘志先生 『グリーンアドバイザーに求められること！』

—植物の歴史、文化を理解し、園芸に付加価値をつける—

参加費 埼玉GAの会会員： 無料 一般参加者：¥1,000

定員 70名(定員になり次第締切させていただきます)

申込期日 2013年1月18日(金)までの消印の方

### 講師プロフィール



英国庭園の設計施工を中心に個人庭園・公共事業・民間大型工事に携わる。

また少年時代から植物好きで、園芸家として「NHK趣味の園芸」放送講師及びテキスト執筆者としても活躍。

2012年4月からNHK趣味の園芸で、「玉さん庭をゆく」に出演中。

2004年開催浜名湖花博のモネの庭を中心とした花の美術館の設計が有名。

「国際バラとガーデニングショー」は第1回から企画・設計・施工に毎年参加。

2011年第13回バラとガーデニングショーでは、テーマガーデン “ガーデンエンジェル印象派の庭” を担当。NHK・BSの特集「バラとガーデニングショー」では吉

谷桂子さんと案内役を務める。日本を代表するトップガーデンデザイナーのひとり。RHSJ(英国王立園芸協会日本支部)コンテナガーデンニングマスター専門講座常任講師。明星大学造形芸術学科講師。2006年より株式会社アイ・アンド・プラス取締役

## 【研修報告】 野菜の苗・種で有名なトキタ種苗農場見学ツアー

平成 24 年 11 月 14 日(水) 午後 13:00

トキタ種苗 大利根農場(埼玉県加須市佐久間 1 2 1 2)に 17 名が参加。

初めにトキタ種苗の農場長代理のお話があり、その後 講師の営業・寺田係長から説明と案内が始まりました。この農場は 10ha の広さがあり社員 20 名、パート 30 名で管理されています。設立 95 周年にあたり去る 10, 11 日に農業デーが開催され来場者 2 日間で 2400 名ほどが来られたそうです。



ここでの改良、育種の品目はトマト、カボチャ、メロン、ズッキーニ、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、キュウリ、エンドウ、インゲン、トウモロコシ、ミニカラーピーマン、ネギ、イタリア野菜、薬物、そして花はパンジー、ビオラ、カレンジュラ、ナデシコです。



エンドウのスジが無いスジナイン、トマトベリーのキューピドは黄化葉巻病(タバココナジラミ媒介)の耐病性品種トマトで、イチゴ形で大変人気があります。またミニトマトのミドリちゃんはリコピンレスで緑のまま完熟します。都市部のレストランのサラダなどで人気が出て来ているそうです。

大きなハウスに案内されると、天井にカボチャが緑、白、オレンジ色と 3 種類なっていました。またキュウリでは一節から 2 本でできる物がありました。驚きの連続で参加者も盛んに写真と撮っていました。



その後圃場にてイタリア野菜ではフェンネルをスティック状に育種されたスティッキオ、カリフラワーで珊瑚のような形状のダ・ヴィンチ、野生の強い香りルーコラ・ローマなどなど。

ネギの、ちゃんこネギは浅漬けでも食べられるそうだ。圃場見学後研修室に向かう途中花壇でサラダ菜が立派に育っていました。それはがっちり君というネギ専用培用土を袋のまま使っており、ビックリしました。研修室で見学内容の詳細説明を受け質疑応答があり、大変有意義な見学会でした。(記事 中緒知和子)

### 【当会の動き】

- 11月14日：研修会 『野菜の苗・種で有名なトキタ種苗農場見学ツアー』
- 11月17日：理事会 下期活動
- 12月17日：GA埼玉56号発行
- 12月22日：理事会 総会準備

## 【イベント情報】

### 第23回 日本フラワー&ガーデンショウ 開催概要決定！

3月22日（金）～24日（日）千葉・幕張メッセ

「日本フラワー&ガーデンショウ」は、第1回開催以来、通算100万人超の入場者数を誇る日本一の総合園芸ショウです。本ショウを主催する日本家庭園芸普及協会は平成24年4月から公益社団法人となり、このショウをこれまで以上に公益性の高い事業として位置付け、植物を育てる喜びや感動を一人でも多くの皆様に感じ取っていただけるよう準備を進めています。今回のショウでは、テーマを「家庭緑花のススメ」（イエニワリョッカのススメ）とし、お庭はもちろんのこと、家の中やオフィスでも花や緑に親しんでいただける様々な情報を発信します。また、今回のシンボルフラワーは豊富な花色と花持ちがよいことで人気の「アルストロメリア」。この花の多彩な魅力に触れていただける様々なご提案をいたします。



### 第52回全日本蘭協会洋らん展 サンシャインシティ世界のらん展2013

（1月10日（木）～14日（月）東京・池袋サンシャインシティ）

### 第11回クリスマスローズの世界展

（2月22日（木）～24日（土）東京・池袋サンシャインシティ

ワールドインポートマートビル4階 展示ホールA）

### 10月に全国都市緑化フェアが開催されました！



10月23日から28日まで全国都市緑化フェアと日本ハンギングバスケット協会全国マスター会にあわせて上野恩賜公園にある国立西洋美術館前庭の花装飾をチームリーダーとして当協会の間室伸子副会長が担当し、下記の通り報告がありました。

「～Hanging Basket Art～ 歩いて感じる光と風と花のささやき」をテーマに、美術館の建物と彫刻との雰囲気と損なわないようライムカラーをベースにあまり多くの花色は使わずに光を受けて風

にゆれる光景をナチュラルに表現してみました。

制作にあたっては来場者の安全性の確保と利用導線を考えながら「美術館正門前」「建物入口」「ロダン広場」「地獄の門」の4か所を重点的に花装飾し青柳西洋美術館長様ご希望の英国風な花あしらいにしました。花装飾提案書や装飾プレートの作成から始まって花台や吊基材、傾斜コンテナ、ミュージアムボールなど美術館用に考案し、植え込み制作、設置にいたるまで前例の無い国立西洋美術館の花装飾に携われたことはとても貴重な体験でした。

会期中 高円宮妃殿下にご覧いただき、多くの方々が来場され前庭を楽しんでいただきました。そして全国マスター会で行われた「私のアイデア作品コンテスト」で西洋美術館を飾った「木製傾斜コンテナ」が金賞・グットアイデア賞をいただきました。

## 【柳下 和之氏（園芸研究家）のコラム 第12回目】

### “ハコベ”



春の七草の一種として万人に知られるハコベは、寒い冬でも青々と葉を茂らせるため、緑が少なくなる冬に食べられる植物として古くから親しまれて来た事が解ります。

鳥の餌としても良く利用されるので、子供の頃に学校のニワトリの餌として摘んだり飼っている小鳥に餌として与えていた事がある人も多いのではないのでしょうか。

しかし一般的と思われているこのハコベですが、一般的に言われるハコベは一種ではなく、「コハコベ」「ミドリハコベ」と言う二種類が存在し、ミドリハコベは在来系、コハコベは近年になって帰化した種とされています。しかしこれも諸説があつてコハコベもミドリハコベ同様に史前帰化種（農耕文明とともに帰化した植物）であるとも言われ結論まだ正確には解っていないという所の様です。

ちなみにミドリハコベは名前の通り茎まで緑色で雄しべが5~10本、コハコベは茎が茶褐色をおびて雄しべが1~5本と言う特徴があるとされています。

5本の雄しべで茎の色が微妙だとどちらか区別が付きにくいかもしれませんが・・・。

決定的な違いはルーペで種子を観察すると解ります。種子の突起物がミドリハコベで良く目立ち、コハコベでは目立たないという特徴があるので身近に生えるハコベの正体は探してみるのも楽しい物です。

ちなみに両方七草として食せるのでご安心を。

#### 訂正とお詫び

9月に発行しました広報誌第55号の「鉢で育てる果樹栽培」記事で誤りがありました。

訂正しお詫びを申し上げます。

(グリーンアドバイザー) ⇒ (グリーンアドバイザー)、(農学博士) ⇒ (農学修士)

#### 【編集後記】

最後のカレンダーもめくり終え、今年も余すところ僅かな日となりました。会員の皆様には、年末のかき入れ時で忙しい日々を送られていると思います。寒さが厳しくなってきましたのでご自愛下さい。

来年は、きっと良い年になることを祈念しつつ本年最後の広報誌となりました。

\*会員の皆様には、どうぞ良いお年をお迎えください！